

空からみた 関東大震災 YOKOHAMA

関東大震災は1923(大正12)年9月1日に発生しました。この地震でまず思い浮かぶのは、東京・下町の火災による被害ではないでしょうか？

実は神奈川県内の被害も甚大でした。県内では、強震動による建物倒壊、震後すぐにきた津波、火災による市街地の延焼、斜面崩壊、10日後にきた大雨による土石流被害など、様々な被害に遭いました。

そこで神奈川県内の被害を伺わせる震災資料を展示しました。

なお本展示は、横浜市民防災センターで展示中の「空から見た関東大震災YOKOHAMA(当室共催)」との連携展示です。近くまでお越しの際には、併せて是非お立ち寄りください。

【自然災害情報室での展示の様子】



【横浜市民防災センターでの展示の様子】



主催: ジオ神奈川、共催: 自然災害情報室